

## 平成 29 年度第 2 回東浦町地域公共交通会議 会議録

会議名	平成 29 年度第 2 回東浦町地域公共交通会議
開催日時	平成 29 年 11 月 22 日（水）午前 9 時 30 分から午前 11 時 00 分まで
開催場所	東浦町役場本庁舎 3 階 合同委員会室
出席者・欠席者	別添「平成 29 年度第 2 回東浦町地域公共交通会議委員名簿」のとおり
議題	<p>(1) 国立長寿医療研究センター病院建替整備工事完了に伴うバスルート等の変更について【協議】</p> <p>(2) 地域間幹線系統確保維持計画及び東浦町地域公共交通網形成計画の事業評価について【協議】</p> <p>(3) 「平成 31 年度地域間幹線系統への位置付け申し出について【協議】</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通検索サービス（ナビタイム・ジョルダン）の導入について</li> <li>・公募委員の募集について</li> </ul>
傍聴者の数	5 人

### 審 議 内 容

◆防災交通課長

定刻となったため、会議を開催する。

◇会長

今回は議題が 3 つある。皆様の意見、ご協力をお願いする。

◆防災交通課長

本日の出席委員は、委員名簿のとおり、28 名中 26 名で、定足数の過半数以上に達しているため、東浦町地域公共交通会議設置要綱第 6 条第 2 項により、本会議が成立したこと及び同条第 4 項により、会議は公開とし、本日の傍聴者は 5 名であることを報告する。

また、本日の会議の内容については、町のホームページで後日公開することを併せて報告する。

また、人事異動に伴う委員の変更があったため、新委員を紹介する。

◆防災交通課長

それでは引き続き議事に入らせていただく。

◇会長

次第に従い議事を進める。議題 1 国立長寿医療研究センター病院建替整備工事完了に伴うバスルート等の変更について、事務局から説明を求める。

**議題 1 国立長寿医療研究センター病院建替整備工事完了に伴うバスルート等の変更について・・・資料 1**

◆事務局 A

資料に沿って説明をする。

変更理由としては、平成 28 年 6 月から始まった国立長寿医療研究センター建替整備工事が、平成 30 年 1 月末頃に完了予定となるため、現在の仮設バスルートから工事完了後のバスルートに変更を行うためである。また、この長寿線は、国庫補助をもらっている路

線になるため、愛知県と国に対し計画変更手続きを行う必要があり、この場で承認をしていただく必要があるものである。

◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

◆委員A

この路線は地域間幹線系統になるため、町から愛知県に変更手続き書類を提出していただき、その後、県から国に申請するものである。国への提出期限もあることから早めに県の方に変更手続き書類を提出していただくようお願いしたい。

◆委員B

道路運送法上でも、事業者から運輸局に提出するものがあるため、そちらの方も早めに準備をしていただくようお願いしたい。

◇副会長

新しい停留所等はどのようになるのか？

◆事務局A

長寿医療研究センターからは、東浦町と大府市、知多バスのバス停を一つにまとめて、分かりやすいバス停を作る予定を聞いている。

◇副会長

ベンチや上屋はどうなるか？

◆事務局A

長寿医療研究センターからはどのようになるのかはまだ決まっておらず、検討中と回答をもらっている。

◇副会長

せっかくバス停が一新するのでいいものができるよう相談して行ってほしい。

◇会長

その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

**議題2 地域間幹線系統確保維持計画及び東浦町地域公共交通網形成計画の事業評価について【協議】・・・資料2**

◆事務局A

資料に沿って説明する。

まず、「1 協議会が目指す地域公共交通の姿」について説明する。町の地域公共交通に関する基本方針としては資料に記載のとおりである。また、町の公共交通網の方向性としては、イメージ図のとおりである。現在の幹線路線を確保しつつ、小型車両を導入し、ネットワークを充実させていきたいという図となっている。

次に「2 計画の達成状況の評価に関する事項」について説明する。評価方法としては、バス路線などの利用状況及び網計画に定めた事業の実施結果に関する評価については、前年度以上の数値を目標に毎年度実施する。網計画の評価については、最終年度に各種アンケート調査を踏まえ、実施する。スケジュールとしては毎年第3四半期に評価を行い、来年度以降の事業に評価を反映させていくこととなっている。

「3 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組内容」について説明する。これは、補助年度でいう平成29年度に実施した事業の主だったものを記載している。まずは(1)バスギャラリーについてだが、ハロウィンとクリスマス時期にハロウィンバスとクリスマスバスを運行した。児童館や保育園の子供に協力を得て運行しており、今後も続けていきたいと考えている。次に(2)「う・ら・ら」&エコモビ達人教室については、緒川保育園、藤江保育園、東ヶ丘幼稚園の年長児を対象に実際の車両を用いて乗り方を学んでもらった。また、愛知県のエコモビ担当にも来てもらい、バスに乗ることがエコにつながるということも学んでもらった。(3)東浦町バスロケーションシステムの導入については、「う・ら・ら」の利便性向上のため、バスの運行情報をWEBサイトや電光掲示板でお知らせするバスロケーションシステムを平成29年3月に導入した。システムの導入後、バスの遅延状況等の確認の電話がほとんどなくなったことから効果があったと感じている。また、WEBサイトと携帯サイトのアクセス件数についてもH29.10月末現在で、月平均で約8,200件あるため、それなりに利用してもらっていると感じている。ただ、まだ知らない方も多いため周知を進めていく必要があるが、今年度については、バスロケの周知方法として、時刻表を増版した際に、時刻表にバスロケ情報も記載させた。今後もさまざまところで周知を進めたいと考えている。(4)「う・ら・ら」バス停留所の修繕等については、汚れていた時刻表防護板の取替や台風等で転倒する恐れのあるバス停の補強等を実施した。(5)「う・ら・ら」タクシーの運行については、「う・ら・ら」を通学用として利用している児童の乗りこぼし対策・安全対策の補完として「う・ら・ら」タクシーを運行した。今のところ大きなトラブルもなく、運行ができています。(6)公共交通機関の広報・利用促進については、①産業まつりでの広報、②高齢者の自動車運転免許自主返納支援制度による公共交通機関の利用促進、③町HPにおける民間路線バスやタクシーの広報・利用促進を実施した。(7)「う・ら・ら」の有料広告については、毎年募集をし、公費負担の縮減を図っている。近年上昇傾向にあるが、今後も増えていくよう努力していく。

次に「4 具体的取組みに対する評価」について説明する。計画の各目標の評価スケジュールについては、資料のとおりである。目標に対する評価についてだが、まずは①補助系統路線の乗車人数について説明する。東ヶ丘長寿線については、前年比99.3%で減少、目標に対しては102.8%で達成となった。通学利用者が目標想定時よりも増えたことが目標を達成できた主な要因であるが、今後小学生利用が減少がしていくことが想定されるため、路線再編等も含めた改正が必要と感じている。平池台長寿線については、前年比98.7%目標に対しては96.2%となった。こちらは通学利用者の想定が減ったことが目標を達成できなかった要因である。次に②4系統5路線の乗車人数等についてだが、全体としては前年比5,678人の増となっている。個別としては長寿線が他と比べて大きく減となっている。また、刈谷線については、もともとニーズが大きいいため、次回のダイヤ改正時には路線改編等も含めた改正が必要と考えている。東ヶ丘線と平池台線については、通学利用者が多いため、通学利用者以外への対策が必要と考えている。③高齢者の自動車運転免許自主返納件数については、支援を開始した平成28年度に大幅に自主返納者が増加している。また、支援内訳ではタクシー助成券を選択する人が多く、タクシー需要も低くないことが分かった。④タクシーの利用台数については、東浦町内での乗車台数としているが、前年比△74台と微減となった。高齢者の運転免許の自主返納支援事業におけるタクシー助成券の利用実績をみると、大府駅や長寿医療研究センター、刈谷豊田総合病院から乗車している人も

多く、そういった方が集計されていないことが微減となった要因と考えている。したがって町内移動での利用促進対策も考える必要があると考えている⑤「う・ら・ら」への財政投入額については、△4,306,053 円となった。主な要因としては国の補助金が大幅に増えたためである。しかし、今後国の補助金が減っていくことが想定されているため、その他の収支改善を増やしていく必要がある。

最後に「5 自己評価から得られた課題と対応方針」については記載のあるとおりであるが、アンケート調査等をしっかり行い、公共交通の現状の問題点や課題を抽出し、5路線全体の利便性公共につながる施策を実施することが特に重要であると考えている。

◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

◆委員B

事業評価について11月9日にも通知させていただいたが、今年度評価書の様式がワードからパワーポイントに変わった。来年度はパワーポイントでの様式を使用していただけばと思う。また、評価は住民に広く見ていただきたいと考えている。そのため、文字のポイントもタイトルでは16ポイント、説明文は12ポイント程度にしてはどうかと思う。しかし、ポイントを大きくすると資料枚数が多くなってしまうため、コンパクトに箇条書き等にしていただくと良いかと思う。また、内容としては、補助系統路線が町の公共交通網にどのように関わっているのかなども記載していただくとよい。加えて、東浦町は鉄道なども含めた他の公共交通機関も数多くあるため、公共交通の全体として、町としてどうしていくのかなども記載できるとよい。その他としては、P2の評価方法の欄には、どのような指標や目標値をもって実施しているのかが分かるように、最終的な指標や目標値も記載した方がよい。また、「3 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組内容」についてだが、対象補助年度以降に実施済みのものや実施予定が分かっているものについて記載をしてもいいと思う。

◆事務局A

来年度以降の事業評価の参考とさせていただく。

◇副会長

網計画の中に、全体として何をしていくか、平成29年度には何をすることが書かれていると思う。しかし、この資料にはそのことが何も書かれていない。どこができていてどこができていないのかが分からない。やるって言っていてやっていないものがないのか。そういった一覧表がほしい。また、説明に小学生利用について何度も出てきたが、小学生を除いた数字は出せないのか。小学生利用を除いた数値も確認する必要がある。加えて、国の補助金が増加した理由について教えてほしい。

評価書全体としては、せっかくいろいろやっているのだから、これをやった結果、こんな成果が出たといったことを記載できるとよい。

◆事務局A

補助年度の29年度にやることとなっていて、やっていないことはない。一覧表については来年度以降はつけさせていただく。小学生を抜いた数値については、小学生がどの便にどれだけ乗ったのかを正確に把握することは難しいが、今後概算での数値でも出せるように努力したいと思う。補助金がなぜ増えたかについては、「う・ら・ら」の経常費用が増えたことで補助金が増えたと認識している。

◆委員C

タクシーの利用台数について1点話がある。東浦町内での利用台数ということだが、大興タクシーでは長寿医療研究センターは東浦町にもかかっているため、集計に入れている。他のタクシー会社は分からないが、大興タクシーの長寿医療研究センターを集計から除くと、平成27年度は25,050台、平成28年度は26,470台となり前年比1,420台の増となる。大興タクシーとしては、長寿医療研究センターでの利用が大きく減となっているということになるが、主な理由としては、建替え工事に伴い、タクシー乗り場でトラブルが多かったためである。

◇副会長

集計をどうするかについては、網計画でのタクシー利用台数の集計方法の定義が何かによるので、それはどうなっているか確認したい。

◆委員D

名鉄知多タクシーは住所地でやっているため、長寿医療研究センターは集計に入っていない。

◆事務局A

事務局とタクシー事業者さんとのコミュニケーション不足があり、申し訳ない。事務局としては、住所地で考えていたため、もともと長寿医療研究センターは集計に含めていないと考えていた。しかし、今回大興タクシーさんは集計に含んでいるとの話があったため、長寿医療研究センターの集計を除いた数値で、取り扱っていきたいと考える。

◇副会長

東浦町からタクシーを乗る人と、東浦町で降りる人はどちらが多いのか。個人的には行きは公共交通で行き、帰りはタクシーで帰ってくる人が多いとも思うがどうか。

◆委員C

降りる人を集計できるか、確認をさせてほしい。物理的には可能な気がするが、作業が非常に大変になるため、安全タクシーさんにも集計ができるか確認してみる。

◆委員D

名鉄知多タクシーは、降りる人の方が1.5倍ほど多い。

◇副会長

そうならば、本来は降りる人を集計する方が大事である。計画上では乗る台数となっているが、参考数値としてでも数値を出せるとよい。東浦町内で乗車できることが重要なわけではなく、町外からでも東浦町の人がタクシーを利用できるようになることが重要である。

◆委員A

国の補助金の増加理由については、事務局が説明したように経常費用が増加したことが主な要因である。また、話は変わるが、東浦町の補助系統路線については幹線系統になるため、県が他市町村の路線分も取りまとめて国に評価を報告することになる。その中で沿線市町村や住民等がどのように考えているのかについても記載していきたいと考えているため、この場を借りて、住民さん等の意見を聞かせていただくと助かる。

◆委員E

町外の方に対して、「う・ら・ら」をもっと知ってもらおう対策をした方が良いと思う。可能かどうかは分からないが、インスタグラムなどのSNS等は利用してはどうか。また、

話は変わるが、森岡の知り合いが「う・ら・ら」に乗る際に、少しもたついたところ、運転手から暴言を受けたと言っていた。そういったことで乗らなくなる人もいると思うので、改善してほしいと思った。

◆事務局B

ハロウィンバスなどについては、広報やHP等で事前に周知を行っている。町外の方はHPとなってしまうため、今後SNSの利用も増やしていきたい。

◆委員C

乗務員の対応については、しっかりと指導をし、今後そういったことがないように努めていきたい。

◇会長

その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

**議題3 「平成31年度地域間幹線系統への位置付け申し出について【協議】・・・資料**

◆事務局A

資料に沿って説明をする。

平成31年度(H30.10～H31.9)の地域間幹線系統への位置付け申し出については、①「東ヶ丘・長寿線」、②「平池台・長寿線」の2系統を位置付ける。位置付けを申し出できる要件を全て満たしているのはこの2路線のみである。

過去3年とも①「東ヶ丘・長寿線」、②「平池台・長寿線」が位置付け申し出されている。しかし、特に「平池台・長寿線」の輸送量の基準が厳しくなっているため、今後、注視していく必要がある。

◇副会長

今日の会議の次第は補助金のことばかりである。補助金のためにやっているという風に映るのが残念だ。資料2は独自の評価の部分もあるためいいが、今後は補助金のためにやっているという風にならないようにしてほしい。ただ、この位置付け申し出の資料にあるとおり、補助金の要件が厳しくなっているのは事実である。要因としては長寿線の利用が少なくなっていることが考えられるが、事務局としてはどのような対応を考えているのか。

◆事務局A

次回のダイヤ改正に向けて、来年度以降にアンケート調査等を実施して、減少した要因を調査していく。また、げんきの郷などと「う・ら・ら」で何かコラボができればと考えているが、今のところ相手方からいい返事は来ていない状況である。

◇副会長

そういったことも重要である。また、長寿線は大府市や知多バスのバスが乗り入れている。そういったバスも含めて、公共交通全体で考えていく必要がある。

その他としては、森岡の人がどういう動きをしたいか確認したい。

◆委員E

長寿医療研究センターや刈谷豊田総合病院に向かうバスの時間をもう少し早くしてほしい。また、病院帰りの13時台にもバスを増やしてほしい。そうすれば、もう少し乗るので

はないかと思う。また、大府駅に行きたいと言っている人が多い。しかし、大府駅に向かうバスに乗っていないのが現状である。

◆委員F

バスの中には、あまり乗っていない時間帯もあると思う。その時間帯に、荷物などを運んではどうか。それは難しいか。

◇副会長

路線バスについては、昔から貨物を載せることは可能なので、問題はない。タクシーについては無理だったが、今後使っていこうという動きになっている。しかし、荷物を運ぶのは、バスの利用客も荷物を運ぶトラックも少ない過疎地で非常に有効であり、東浦町では厳しいと思う。

◆委員G

来年度、大府市でも時刻表の改正を考えている。東浦町始め近隣市町の状況も踏まえてよりよいものを作りたいと考えている。今後も密な情報交換等をお願いしたい。

◇会長

その他なければ、採決を取らせていただく。

◆全委員

異議なし。

その他

◇会長

その他で何かあるか？

◆事務局A

次第に記載のある2点を説明させていただく。1点目としては、公共交通検索サービス（ナビタイム・ジョルダン）の導入についてである。東浦町の「う・ら・ら」が平成29年10月から総合ナビゲーションシステムのナビタイムとジョルダンを利用できるようになった。お出かけの際に非常に便利なものとなるため、ぜひ利用するとともに、周りに周知等をしていただきたい。2点目としては、公募委員の募集についてである。現在の委員の任期が平成30年3月末で満了となる。したがって、公募委員を再度募集させていただく。12月の広報にも載せさせていただくので、こちらの方も周知等をお願いしたい。

◆防災交通課長

次回の会議日程については、3月頃を予定している。また、詳細については近くなったら連絡させていただく。

◇会長

本日の議事日程をすべて終了した旨を告げ、閉会を宣告する。